

山形県スポーツコミッションの取組み

令和5年2月17日



【山形県スポーツコミッションとは】

- ☞ 国内外からのスポーツ大会、合宿等の誘致や受入支援、スポーツ施設・スポーツ大会に関する情報や文化・観光資源に関する情報の発信を行い、スポーツへの参加やスポーツ観戦・応援と、観光・温泉・文化などの地域資源を組み合わせた取り組みである「スポーツツーリズム」などスポーツを核にした交流により地域活性化を図るもの

事業内容

全国レベルイベントの誘致・支援

1

1. 関係団体やスポーツマネジメントコンサルタントと連携した誘致活動
2. 大会開催に伴う事務のワンストップ支援
広報・PR、助成制度、宿泊・交通、大会運営、各種手続、文化・観光情報

企業・大学などの合宿誘致・支援

2

1. ホームページ開設による情報提供（スポーツ施設、宿泊施設情報等）
2. 相談窓口設置
3. スポーツ施設管理者（市町村等）への情報提供
4. 文化・観光情報提供

人材育成（会員向け）

3

1. 会員団体人材のスキルアップ研修会の開催
2. ボランティア育成講習会

イベント／合宿の誘致・支援のながれ

会
員

- ・スポーツ施設
- ・大会情報等情報発信に必要な情報
- ・誘致活動に必要な情報

- ・合宿
- ・大会等情報発信
- ・大会支援
- ・協力依頼

山形県スポーツ
コミッション

- ・スポーツ大会等情報
- ・スポーツ施設、
宿泊施設等情報
- ・誘致活動
- ・相談対応
- ・各種支援

観
戦
者

企
業
・
大
学
等

大
会
等
主
催
者

ス
ポ
ー
ツ
施
設
宿
泊
施
設
等

大会・合宿の実施

運営体制

推進・運営組織

《推進本部》

名誉会長／山形県知事

会長／山形県観光文化スポーツ部長

委員／山形県スポーツ協会 理事長

山形県レクリエーション協会会長

山形県商工会議所連合会会長

山形県商工会連合会会長

山形県観光物産協会会長

《運営委員会》

《事務局》

参加・協力

《会員》

- ・市町村・スポーツ団体（競技団体）
- ・プロスポーツ団体・観光関係団体・経済団体
- ・マスコミ・大学・農業団体・医療関係団体

会員連絡会

【これまでの SC の取組み(H30～R5.1)】

○ スポーツ大会・イベント・合宿等の実施

- ・ NTT東日本野球部と連携した野球教室等の開催
- ・ NTT コミュニケーションズ, NECグリーンロケッツのラグビー教室の実施
- ・ 日本女子ソフトボールリーグ1部チームの強化試合の誘致
- ・ 山形県SCカップモルック大会の開催
- ・ 山形県総合運動公園を周回するマラソン大会の開催
- ・ モンテディオ山形 パブリックビューイングの実施



モルック大会

○ 首都圏における合宿誘致相談会の開催、合宿誘致のための旅行代理店へのPR活動

- ・ 慶應義塾大学、大正大学野球部等の合宿

○ 研修会(会員連絡会)の開催

○ 各種情報収集・情報発信



高校生へのバッティング指導

【今後の山形県スポーツコミッションの主な取組み】

1 スポーツ大会・イベント・合宿

- スポーツイベントの実施・普及(例:アーバンスポーツなどのニュースポーツ等)
- 市町村や各スポーツ団体等の取組みに対する支援(共催・後援・協賛等による参画、情報発信、合宿誘致活動の共同実施等ソフト的支援)

2 情報の受発信

上記に関する各種相談・問合せ、スポーツ大会・イベント・合宿の情報提供（会員・各種団体等⇒SC）
（SC⇒会員・各種団体・県民）相談への対応、HP・SNS等による大会等の周知、大会等の取材と情報発信

- 
- これまでの取組みによるノウハウの蓄積(野球大会・合宿、ラグビー合宿、モルック大会等)
 - 会員等への訪問による情報交換
 - 一般財団法人日本スポーツコミッション主催の各種研究会等における情報収集
 - 首都圏コンサルティング会社からの情報提供、助言、誘致活動のコーディネート・アテンド 等

令和5年度事業の検討状況

1 賑わいを創出するスポーツイベントの開催

アーバンスポーツ大会等の実施

- ・ 2020東京オリンピックを契機として人気が拡大してきているアーバンスポーツ（スケートボード、3on3 バスケットなど）大会の開催

モルック大会の開催

- ・ ユニバーサルスポーツの一つでもあるモルックについて、県外チームの参加を促して開催

パブリックビューイングの開催

- ・ プロスポーツを幅広く周知し、スポーツの魅力を各層に幅広く伝えるため、モンテディオ山形、山形ワイヴァンズ、アランマーレ等の試合を対象として開催



2 スポーツ合宿等の誘致

- ・ 首都圏等の大学、旅行代理店等に対して、合宿パンフレットなどを活用した PR 活動

3 国の補助金の活用について

- ・ スポーツ庁の令和5年度「スポーツによる地域活性化・まちづくり担い手総合支援事業」に応募し、上記スポーツイベントの大規模化、複数開催などの検討を行う。

（例）アーバンスポーツ、ニュースポーツ等のスポーツイベントの開催及び支援